

報告事項

令和7年度事業報告

I 庶務に関する事項

1 会員及び役職員の状況

(1) 会員

(単位：団体、人)

区 分	年度当初	加 入	退 会	年度末	備 考
正会員	87		2	85	
準会員	4			4	
合 計	91			89	

(2) 役員

(単位：人)

区 分	会 長	副会長	専務理事	理 事	監 事
人 数	1	2	1	9	2

(3) 職員

(単位：人)

区 分	県出向職員	正職員	嘱託職員	臨時職員
人 数	1	6	2	2

2 総会の開催状況

(1) 第70回通常総会

ア 期 日 令和7年6月13日

イ 場 所 熊谷市 ホテルヘリテイジ

ウ 議 事

第1号議案 令和6年度収支決算及び公益目的支出計画実施報告書の承認について

第2号議案 令和7年度会費の賦課・徴収方法の決定について

第3号議案 令和7年度借入金最高限度額並びに借入先・預入先金融機関の決定について

第4号議案 令和7年度役員報酬額の承認について

付 帯 決 議

3 役員会（理事会）等の開催状況

(1) 役員会（理事会）及び監査会

区 分	期 日	場 所	会議の内容
監査会	令和7年 5月1日	熊谷市 農技研会議室	令和6年度事業報告について 令和6年度収支計算書、財産目録について 公益目的支出計画実施報告書について
役員会 (第1回理事会)	令和7年 5月20日	熊谷市 ホテルヘリテイジ	第70回通常総会提出議案について 業務執行体制について
役員会 (第2回理事会)	令和7年 8月8日	書面決議	肉用子牛生産者補給金制度に係る第7業務対象年間終了に伴う生産者積立準備金の返還について

区 分	期 日	場 所	会議の内容
役員会 (第3回理事会)	令和8年 3月4日	熊谷市 ホテルヘリテイジ	令和8年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について 業務執行理事職務状況について

(2) 定例会議

常勤役員及び職員による定例会議を毎月開催し、業務の円滑な推進に努めた。

4 研修会への参加状況

研修会名	研 修 内 容	期 日	場 所	人数
経営指導技術向上事業	中央畜産会事業の概要	4月15～16日	リモート研修	4名
中畜管理者新任研修	畜産会組織の成り立ち・組織運営	7月17日	東京都	1名
中畜関東ブロック会議	畜産会組織課題検討・衛生	9月4日	神奈川県	3名
中畜関東ブロック会議	畜産会組織若手勉強会	9月5日	神奈川県	1名
関東ブロック若手職員研修会	畜産会組織課題検討	9月25～26日	山梨県	1名
和牛登録審査研修会	畜産経営の分析・指導	10月1～2日	埼玉県	3名
中畜管理責任者等研修	採用関係等	10月6日	WEB	1名
国内技術研修	機械導入編	12月11日	WEB	1名
畜産会組織職員交流会	畜産会組織課題検討	1月13～14日	東京都	1名
技術指導講習会	養蜂技術等	1月15日	WEB	1名
肉用子牛基礎研修会	事業基礎研修等	1月15日	WEB	2名
電子化推進研修会	畜産会組織間の事務効率化に向けて	2月5日	東京都	2名

II 業務に関する事項

1 生産技術向上対策に関する事業

(1) 畜産振興補助事業（地方競馬全国協会）

畜産経営技術指導等を推進するため、次の3事業を実施した。

①畜産経営の支援体制の強化を図る事業

ア 県内畜産農家の経営等の個別指導、経営安定及び経営改善等の支援指導

イ 畜産経営の安定を図るための価格安定制度等の推進や機械導入の推進

ウ 性判別等優良な凍結精液や受精卵の供給や家畜登録など家畜改良及び生産基盤強化の推進

②地域畜産の活性化、安全かつ安定的な食の提供に資する事業

ア 農業イベントにおいて、県産畜産物に対する消費者の理解促進、普及啓発

イ 関係機関と連携して家畜防疫に関する会議の開催や演習の実施

ウ 家畜共進会・品評会開催等活動

エ 学校教育における地域畜産物の理解促進

③馬事・畜産普及啓発の推進体制の強化を図る事業

ア 浦和競馬における畜産フェアの実施

イ インターネットを利用した競馬ファンへの県産畜産物プレゼント

ウ 冠レースの実施

エ 競馬場見学会の開催

- オ 馬事畜産振興協議会活動
- カ 家畜に係わる伝統行事への支援
- キ 地方競馬ミルクウィーク実施への協力

(2) 畜産経営技術指導事業（埼玉県）

畜産経営の状況を把握し、畜産コンサルタント団による効果的な指導を実施した。あわせて、生産技術の向上や経営の改善・安定を図るための研修会を開催するなど、多角的な支援に努めた。

①畜産経営体指導調査・研修会

調査・研修会名	期 日	参加者数	調査・研修内容
和牛登録審査研修会	令和7年 10月1～2日	20名	①和牛登録のシステムと実務 ②和牛の登録審査と見方 ③子牛及び成牛の審査
家畜技術向上研修会	令和8年 2月6日	42名	①暑熱対策としての受精卵移植について ②G-Evaの活用について

②総合的な指導

〔畜産コンサルタント団の設置実績〕

	人数	職 種 等
総括畜産コンサルタント	1名	専務理事
畜産コンサルタント	4名	
非常勤畜産コンサルタント	2名	元埼玉県職員（獣医師）・家畜人工授精師

〔個別支援指導実績〕

（単位：戸）

指導内容	実 績				
	酪農	肉用牛	養豚	養鶏	合計
畜産経営技術指導※ ¹	15	0	0	0	15
フォローアップ指導※ ²	10	6	0	0	16
家畜改良指導等※ ³	86	95	4	0	185
合 計	111	101	4	0	216

※¹：畜産経営分析システムを活用した経営診断に基づく指導

※²：各種補助事業実施時又は実施後に行う助言・指導

※³：家畜改良業務時に行う経営技術指導

③家畜改良に係る指導

〔家畜改良に係る指導実績〕

区 分	取組戸数・回数	内 容
家畜登録の推進	2,028頭	登記検査員 3名 地方審査員 2名
優良な凍結精液や受精卵の供給	8,131本	凍結精液 8,131本（うち性判別）1,403本 受精卵 234本
共進会の開催等	18頭	全日本ホルスタイン共進会 3頭 埼玉県乳牛共進会 15頭

④畜産経営関係情報のホームページ等による提供

[畜産経営関係情報のホームページ等による提供]

区 分	提供媒体	内 容
畜産経営技術の改善等の取組事例	インターネット・冊子配布	畜産経営事例、各種案内の提供
県畜産物に係るブランド化の取組事例及び6次化産業化等	インターネット・広報資料配布	畜産グルメガイド、各種案内の提供
付帯事業	ブランド化・6次化産業化推進	一般消費者への畜産グルメガイド配布 県産畜産物配布

(3) 畜産安全課関係団体運営費補助事業（埼玉県）

県の畜産振興に関する方針に基づき、畜産経営技術の向上、家畜登録、家畜改良増殖の普及に努めた。また、家畜衛生指導、経営環境保全整備のための指導等、行政の補完的役割を果たし、会員及び関係機関と連帯し会務の円滑な運営に努めた。

(4) 畜産酪農収益力強化整備等特別対策事業（機械導入事業）（中央畜産会）

県内畜産クラスター協議会の窓口団体として、事業申請の取りまとめや導入機械の現地確認、その他畜産クラスター協議会や取組主体に対する助言・指導により事業を円滑に実施した。

[事業実績] 機械導入利用状況確認 1戸（肉牛） 事業内容変更の周知 19協議会
成果報告作成指導 12協議会

(5) 畜産酪農収益力強化整備等特別対策事業（全国クラスター調査推進事業）（中央畜産会）

畜産経営の実態を把握するため動向調査を実施した。

[事業実績] 15戸

(6) 畜産経営体生産性向上対策事業（畜産ICT事業）（中央畜産会）

酪農・肉用牛農家における労働負担軽減・ICT化を図るため、飼養管理技術の高度化に資する機械装置の導入を推進するとともに利用状況の確認や事業効果を高めるための改善指導等を行った。

[事業実績] 機械導入 2戸（酪農） 導入機械 自動給餌機1基・搾乳関連機器1基
機械導入利用状況確認 1件

(7) 酪農労働省力化対策事業（楽酪GO事業）（中央畜産会）

酪農家における労働負担軽減を図るため、省力化機械装置の導入等を推進するとともに利用状況の確認や事業効果を高めるための改善指導等を行った。

[事業実績] 機械導入 実績なし 事業活用相談 2件

(8) 畜産経営高度化指導推進事業（中央畜産会）

経営指導指標作成に必要な経営事例の調査を行った。

[事業実績] 酪農 2件

(9) 優良繁殖雌牛更新加速化事業（全国肉用牛振興基金協会）

高齢の繁殖雌牛から、増体や肉質に優れた若い繁殖雌牛への更新に対し奨励金を交付し、

肉用牛の生産基盤の強化を図った。

〔事業実績〕 交付農家 8戸 交付頭数 22頭 交付金額 2,450,000円

※埼玉県肉用牛経営クラスター協議会を通じて交付

(10) 乳用牛改良増殖推進事業（家畜改良事業団）

乳用牛のゲノミック評価をより信頼性の高いものにするため、家畜改良事業団が実施する検査に必要なサンプルの収集を行った。

〔事業実績〕 農家戸数 8戸 サンプル頭数 73頭

(11) 酪農緊急パワーアップ事業（家畜改良事業団）

調整交配用精液の活用を図る酪農経営体に対して、乳用種雄子牛の出生頭数に応じた支援金を交付した。

〔事業実績〕 交付農家 1戸 交付頭数 1頭 交付金額 6,000円

(12) 貸付事業指導等委託事業（畜産近代化リース協会）

畜産近代化リース協会が、県内畜産農家に貸し付けた機械施設について、利用管理状況の調査及び経営指導を実施した。

〔貸付状況〕 新規 貸付者1名 継続 貸付者1名 貸付機械2台

(13) 畜産環境整備リース事業（畜産環境整備機構）

畜産環境問題等に適切に対応するため、家畜ふん尿の処理等に必要な機械・装置等を貸付け及び貸付者に対する指導を行った。

〔貸付状況〕 新規なし

(14) 家畜共進会の開催参加等

①第59回埼玉県乳牛共進会 令和8年3月7日 埼玉県農業大学校 15頭出品

②第16回全日本ホルスタイン共進会 令和7年10月23～26日 北海道安平町 3頭出品

2 経営安定対策に関する事業

(1) 肉用牛肥育経営安定交付金制度業務受託（農畜産業振興機構）

肉用牛経営の安定を図るため、肉用牛の交付金業務を円滑に実施し、積立金管理者として制度の普及や支援を行った。

〔契約者数（令和8年3月31日現在）〕 44件

〔事務委託先数（令和8年3月31日現在）〕 8件

〔積立金管理状況（令和7年4月～令和8年3月）〕 (単位：円)

品 種	年度当初残高	負担金造成額 (含運用益)	交付金交付額	基金取崩額	年度末残高
肉専用種	62,402,531	141,926,305	43,961,269	14,653,814	131,700,601
交 雑 種	70,979,723	37,055,192	2,188,845	729,635	36,299,557
乳 用 種	30,864,791	29,303,768	32,028,707	10,676,265	20,460,964
合 計	164,247,045	208,285,265	78,178,821	26,059,714	188,461,122

〔交付金交付実績（令和7年4月～令和8年3月）〕

（単位：人、頭、円）

品 種	延べ交付人数	交付頭数	交付額
肉専用種	136	2,670	58,615,083
交 雑 種	43	349	2,918,480
乳 用 種	64	1,471	42,704,972
合 計	243	4,490	104,238,535

〔返還金実績（第2業対：令和4年度～令和6年度）〕

（単位：人、頭、円）

品 種	延べ人数	頭数	返還額
肉専用種	38	16,967	57,974,421
交 雑 種	30	5,316	71,005,723
乳 用 種	6	4,580	29,031,330
合 計	74	26,863	158,011,474

（2）肉用子牛生産者補給金制度（農畜産業振興機構）

肉用子牛生産者補給金制度に係る適正かつ円滑な実施体制の確保を図るとともに、生産者補給金の交付事務処理の高度化を図った。

〔契約者数（令和8年3月31日現在）〕 57件

〔事務委託先数（令和8年3月31日現在）〕 10件

〔個体登録頭数及び生産者積立金造成額（令和7年1月～令和7年12月）〕

（単位：頭、円）

品 種	登録頭数	積立金単価	積立金額	負 担 内 訳		
				機 構	県	生産者
黒毛和種	399	1,600	638,400	319,200	159,600	159,600
褐毛和種	0	6,000	0	0	0	0
その他肉専用種	0	18,800	0	0	0	0
乳 用 種	175	6,800	1,190,000	595,000	297,500	297,500
	418	5,000	2,090,000	1,045,000	522,500	522,500
乳用交雑種	202	3,200	646,400	323,200	161,600	161,600
	504	2,400	1,209,600	604,800	302,400	302,400
合 計	1,698	-	5,774,400	2,887,200	1,443,600	1,443,600

〔補給金交付頭数及び総額（令和7年1月～令和7年12月）〕

その他肉専用種の発動があったが、該当生産者なし。

〔返還金実績（第7業対：令和2年1月～令和6年12月分）〕

（単位：人、頭、円）

品 種	延べ人数	頭数	生産者分返還額	機構返還額	返還額合計
黒毛和種	11	709	282,015	564,030	846,045
その他の肉専用種	1	1	4,702	9,404	14,106
乳 用 種	2	1,530	2,596,723	5,193,446	7,790,169
乳用交雑種	10	4,083	3,232,012	6,464,023	9,696,035
合 計	24	6,323	6,115,452	12,230,903	18,346,355

(3) 肉用子牛生産者補給金制度運営適正化事業（農畜産業振興機構）

個体登録や販売等の確認及び電算システムでの報告等を実施するとともに、事務委託先や生産者の指導を行い、補給金制度に係る事務の適正化を図った。

(4) 指定協会運営体制支援事業（農畜産業振興機構）

補給金制度を適正かつ効率的に実施するため運営体制強化を図った。

(5) 優良和子牛生産推進緊急支援事業（農畜産業振興機構）

和子牛の平均価格が発動基準価格を下回らなかったため、飼養管理の向上に取り組む生産者への奨励金の交付には至らなかった。

(6) 和子牛産地基盤強化緊急特別対策事業（農畜産業振興機構）

和子牛の平均価格が発動基準価格を下回らなかったため、産地基盤強化に取り組む生産者への奨励金の交付には至らなかった。

(7) 鶏卵価格安定対策事業（埼玉県）

卵価が基準を下回った際に生産者積立金の一部を補填する事業において、今回は交付基準に達せず、補助金の交付には至らなかった。

〔事業実績〕 事業参加農家 10戸

(8) 配合飼料価格高騰緊急支援事業（埼玉県）

配合飼料価格急騰の影響を緩和するため、購入経費の一部（令和7年7～9月）を補填し、畜産農家の経営安定を図った。

〔事業実績〕 交付農家 331戸 交付単価10,000円/t 補填数量 47,444.79t 交付金額 474,447,800円

〔内 訳〕 第1回交付（R6年度執行済） 414,123,200円 ・第2回交付 60,324,600円

3 家畜改良対策に関する事業

(1) 家畜登録事業（日本ホルスタイン登録協会、日本養豚協会、全国和牛登録協会）

家畜改良増殖を促進するため登録3団体の委託団体として登録業務を実施した。

〔家畜登録実績〕

（単位：件・％）

ホルスタイン種				種 豚				和 牛			
区分	計画	実績	対計画	区分	計画	実績	対計画	区分	計画	実績	対計画
血統登録	270	298	110.3	種豚登録	100	103	103.0	子牛登記	1,660	1,456	87.7
移動証明	10	8	80.0	繁殖子納	20	0	0	基本登録	280	194	69.2
牛群審査	80	117	146.2	子豚登記	170	113	66.4	移 動	50	8	16.0
体型調査	40	66	165.0	子・種移動	40	3	7.5	遺伝子型他	440	347	78.8
検定証明	300	484	161.3	黒豚証明他	130	22	16.9	その他	20	5	25.0
その他	0	5	-	その他	40	78	195.0				
計	700	978	139.7	計	500	319	63.8	計	2,450	2,010	82.0

(2) 牛凍結精液配布事業(会単独事業)

[配布実績]

(単位:本 %)

区 分		前年実績	本年実績	対前年比
(一社) 家畜改良事業団	乳 牛 (一般)	758	638	84.1
	乳牛 (性判別♀)	702	751	106.9
	和 牛	4,950	4,118	83.1
十勝家畜人工授精所	乳 牛 (一般)	462	351	75.9
	乳牛 (性判別♀)	5	4	80.0
	和 牛	500	268	53.6
他県・その他授精所	乳 牛	380	579	152.3
	和 牛	430	1,422	330.6
合 計		8,187	8,131	99.3

[参 考] 年度別精液配布実績推移

(単位:本 %)

区 分	乳 牛		和 牛		合 計	
年 度	取扱実績	対前年比	取扱実績	対前年比	取扱実績	対前年比
28	3,780	84.7	7,228	122.0	11,008	105.9
29	3,781	100.0	7,553	104.5	11,334	103.0
30	3,369	89.1	7,883	104.4	11,252	99.3
R1	3,035	90.0	7,936	100.7	10,971	97.5
2	3,077	101.4	7,566	95.3	10,643	97.0
3	2,644	85.9	7,654	101.2	10,298	96.8
4	2,681	101.4	7,242	94.6	9,923	96.4
5	2,935	109.5	6,340	87.5	9,275	93.5
6	2,307	78.6	5,880	92.7	8,187	88.3
7	2,323	100.6	5,808	98.7	8,131	99.3

4 家畜防疫体制確保に関する事業

(1) 家畜生産農場衛生対策事業(農林水産省)

ヨーネ病、牛伝染性リンパ腫、牛ウイルス性下痢(BVD)の発生、流行防止対策等を推進し、家畜の損耗防止を図った。生産者による飼養衛生管理の向上に努めた。

[推進会議]

会 議	開催日	実施場所
川越家畜保健衛生所事業推進会議	令和7年5月21日	Web開催
中央家畜保健衛生所事業推進会議	令和7年5月27日	Web開催
熊谷家畜保健衛生所事業推進会議	令和7年5月27日	Web開催
地域自衛防疫推進会議	令和7年7月16日	Web開催

〔事業実績〕

区 分	内 容	実施状況
ヨーネ病対策	ヨーネ病まん延防止等のための自主とう汰等を推進	－
牛伝染性リンパ腫対策	①検査の推進 ②吸血昆虫の忌避・駆除対策 ③高度感染牛の自主とう汰の推進	検査補助：1,663頭／46戸 補助農家：1戸 実績なし
BVD対策	①検査の推進	検査補助：1,831頭／70戸
農場飼養衛生管理強化対策	獣医師による飼養衛生管理基準に基づいた衛生指導	9戸

(2) 家畜防疫互助基金支援事業（中央畜産会）

口蹄疫、豚熱等の海外悪性伝染病の病原体の海外からの侵入に備えて、加入者に対し飼養衛生管理基準の遵守について注意喚起等をするとともに、養豚生産者に対し積立金の追加徴収事務を行った。

〔令和6～8年度生産者積立金状況〕

(単位：戸、頭、円)

区 分	契約戸数	契約頭数	積立金額
養 豚	26	58,005	5,387,620
養 豚 (追加)	24	47,247	2,651,748
乳用牛・肉用牛	96	19,017	2,637,095

(3) 馬飼養衛生管理特別対策事業（中央畜産会）

馬飼養衛生管理体制の総合的な整備を図り、効果的な馬防疫を推進し、多様な飼養目的、飼養形態下にある馬衛生の向上に資するため、委員会・技術講習会、実態調査を実施した。

〔事業実績〕

区 分	内 容
馬飼養衛生管理体制整備委員会の開催	1回（書面開催）
技術講習会の開催	①演題『きゅう舎に侵入する主な害獣とその対策について』 講師 谷川 力 氏（公益社団法人日本ペストコントロール協会理事・技術委員長／イカリ消毒株式会社名誉技術顧問） ②演題『浦和競馬開催時の暑熱対策の実施状況について』 講師 亀田 光澄 氏（埼玉県浦和競馬組合 競走業務課主幹）
地域馬獣医療実態調査数	42件

(5) 馬伝染性疾病防疫推進対策事業（中央畜産会）

競走馬以外の乗用馬等への馬インフルエンザワクチン及び、繁殖牝馬に対する馬鼻肺炎ワクチン接種の推進を図り、発生リスク等の低減、清浄化を推進した。

〔事業実績〕

ワクチンの種類	接種頭数	補助金額
馬インフルエンザワクチン	325頭	1,280,500円
馬鼻肺炎ワクチン	2頭	24,000円

(6) 家畜防疫・衛生指導対策事業（中央畜産会）

家畜防疫体制の強化を図るため、推進会議の開催や、伝染性疾病発生時の対応を支援する防疫演習等を実施した。あわせて、輸入馬における馬伝染性貧血検査を推進した。

【推進会議】

会 議	開催日	実施場所	参加人数
地域自衛防疫推進会議	令和7年7月16日	Web開催	6名
第1回防疫演習連絡会議	令和7年7月31日	Web開催	7名
第2回防疫演習連絡会議	令和7年10月9日	Web開催	7名

【防疫演習】

演 習 名	実施日	実施場所	参加人数
中央家畜保健衛生所管内特定家畜伝染病防疫演習	令和7年9月11日	さいたま市	47名
熊谷家畜保健衛生所高病原性鳥インフルエンザ防疫演習	令和7年10月2日	熊谷市	11名
川越家畜保健衛生所管内特定家畜伝染病防疫演習	令和7年10月7日	川越市	25名
埼玉県特定家畜伝染病防疫演習	令和7年10月16日	伊奈町	169名

5 消費者信頼確保に関する事業

(1) 地域畜産支援指導等体制強化事業（中央畜産会）

畜産農家の連携強化を図るため畜産団体の活動を支援するとともに、浦和競馬場での畜産フェア開催を通じ、地方競馬の持続的な発展に大きく寄与した。

また、生産者等からの経営相談に応じるための窓口を設置した。

【事業実績】

畜産団体活動支援

	開催日
①2025セトラルビジャパンホリタインショウ埼玉県派遣団	令和7年4月3～5日
②第1回埼玉県養蜂協会みつばち講習会 演題：蜂蜜製造における衛生管理について 講師：熊谷保健所 石田諭史 氏 演題：腐敗病検査等の現状について 講師：埼玉県畜産安全課 村田拓馬 氏	令和7年9月9日
③HPAI発生農場防疫措置講習会 演題：高病原性鳥インフルエンザ発生農場の防疫措置について	令和7年10月17日
④令和7年埼玉県粗飼料利用研究会現地検討会・講演会 演題：地産地消型の飼料生産・供給体制構築 講師：山形大学農学部 浦川修司 氏	令和7年11月28日
⑤埼玉県酪農協会婦人懇談会 演題：花や緑に囲まれた心豊かな生活づくり 講師：酒井和子 氏	令和7年12月2日
⑥第2回埼玉県養蜂協会みつばち講習会 演題：養蜂の基本技術とヘギイタダニ対策 講師：埼玉県養蜂協会顧問 干場英弘 氏	令和7年12月4日
⑦令和7年度埼玉県養豚講習会 演題：養豚農場の暑熱対策について 講師：(有)サットベタリーサービス 石川弘道 氏	令和8年1月30日
⑧令和7年度家畜改良講習会 演題：暑熱対策としての受精卵移植について・G-Evaの活用について 講師：(一社)家畜改良事業団 前橋種雄牛センター場長 板橋 完 氏	令和8年2月6日

浦和競馬畜産フェア開催

区 分	実施時期	提供畜産物
①WEB県産畜産物プレゼント	4月 7月 9月 10月 12月 1月	①深谷牛 ミックスカルビ ②武州豚 バーベキューセット ③榎本牧場 ジェラート ④サイボク ゴールデンポーク ロースハム ⑤国分牛 スペシャルセット ⑥彩の国黒豚 ギフトセット
②競馬場での県産畜産物特別販売	11月26日・27日	①プリン ②蜂蜜 ③ドライソーセージ
③ 浦和記念特別イベント	浦和記念開催日 令和7年11月25日	①深谷牛 焼肉

(2) 浦和競馬組合場内活性化事業（県浦和競馬組合）

競馬組合のホームページ上で県産畜産物プレゼント企画を実施し、県産畜産物の普及と競馬ファンサービスの充実を図った。

〔事業実績〕

浦和競馬畜産フェア開催

区 分	内 容	販売品
競馬場での県産畜産物の特別販売	畜産フェア内でのPR販売	①深谷牛焼肉 ②プリン ③蜂蜜 ④ドライソーセージ
畜産物等の販売	畜産物加工品等の販売	①ジェラート ②タマシヤモ弁当 ③やきとり

(3) 畜産関係広報委託事業（県浦和競馬組合）

浦和競馬開催日程等を当会及び関係団体が発行する会報等に掲載するとともに、畜産関係イベントにおいて地方競馬の魅力をPRする広報活動を行った。

〔事業実績〕

区 分	内 容	実施時期
会報等の掲載	会報・印刷物での情報発信	年6回
ホームページでの広報	公式HPでの随時発信	随時
イベントでのPR	彩の国農林業ドリームフェスタ（熊谷文化スポーツ公園）	令和7年11月15～16日

(4) 馬事畜産振興推進事業（馬事畜産振興協議会）

地方競馬や畜産への理解を深めることを目的とし、畜産団体等と連携して「埼玉県馬事畜産振興協議会」を開催した。また、令和7年11月の浦和競馬における施設見学や冠レースの実施を通じた開催支援、地方競馬ミルクウィーク、その他普及PR活動を展開し、地方競馬の振興を図った。

〔事業実績〕

区 分	内 容	実施状況	開催日
競馬見学会・協議会の開催	見学会・協議会の実施	1回（参加者15名）	令和7年11月25日
冠レースの開催	冠レースの実施	4レース	令和7年11月26日
冠レース副賞	サイボクハムカタログギフト	－	－
地方競馬ミルクウィーク	県内産乳製品無料配布	500本	令和8年3月19日

(5) 地域畜産フェア拡大推進事業（馬事畜産振興協議会）

県内生産者と消費者の交流の場として畜産フェア等のイベントを開催し、消費者に対して畜産に対する理解の醸成を図るとともに、地方競馬の畜産振興への貢献について周知した。

〔事業実績〕

区 分	内 容	開催日
牛乳消費拡大	牛乳アンケートの実施・牛乳の無償配布	令和7年11月14日
おいしさいっぱい畜産フェア	①県産畜産物の販売に併せてスタンプラリーを開催し競馬・畜産普及啓発品（保冷バッグ）を配布 ②牛に関するアンケートの回答者へ、地方競馬及び畜産の振興啓発品及び県産畜産物を配布 ③養蜂のワークショップ参加者へ県産はちみつを無償配布	令和7年11月15～16日

(6) 畜産物消費拡大事業（会独自事業）

県内最大の農林業イベント会場等において県内畜産物の消費拡大を目的に、関係団体と連携して、牛乳の無料配布等のPR活動やパネル展示・チラシの配布等を行い、一般消費者へ畜産物の理解増進を図るとともに、学校教育を通じて、地域畜産物への理解を図った。

〔事業実績〕

彩の国農林業ドリームフェスタへの参加

区 分	内 容	開催日
彩の国農林業ドリームフェスタ	①おいしい埼玉畜産ガイド・チラシの配布（1,000部） ②畜産関連のパネル展示	令和7年11月15～16日 熊谷文化スポーツ公園

わくわくモーモースクールへの参加

実施校	児童数	開催日
深谷市立上柴東小学校	379名	令和7年10月14日
富士見市立富士見特別支援学校	91名	令和7年10月28日
蓮田市立平野小学校	151名	令和7年11月25日

(7) 畜産振興諸活動（会独自事業）

関係機関の協議会等に本会役員が委員、役員等に就任し本県畜産の振興に寄与した。本会広報誌「畜産埼玉」を2回発行し、会員及び関係機関に配布した。

6 畜産関係団体の事務受託

本会業務に関連のある団体の事務局を受託し、各団体の事業計画に基づき、諸事業の円滑な推進に努めた。

- (1) **埼玉県酪農協会**（会員：団体11、個人37、賛助15）
牛乳消費活動、全酪新報の配布、地域酪農活性化支援事業、研修会
- (2) **埼玉県肉用牛経営者協会**（会員：団体5、個人61、賛助5）
優良繁殖雌牛更新加速化事業（埼玉県肉用牛経営クラスター協議会）、牛枝肉共進会
家畜衛生対策事業
- (3) **埼玉県養豚協会**（会員：団体7、個人39、賛助31）
肉豚経営安定対策事業、J P P A業務、研修会、豚枝肉共進会、家畜衛生対策事業
- (4) **埼玉県養鶏協会**（会員：団体8、個人16、賛助49）
鶏卵消費拡大活動、研修会、高病原性鳥インフルエンザ等防疫対策支援
- (5) **埼玉県養蜂協会**（会員：個人133）
養蜂資料配布、養蜂物資あっせん取次ぎ、みつばち講習会、はちみつ品評会・即売会
県外研修会
- (6) **埼玉県畜産技術振興会**（会員：団体10、個人89）
家畜改良関係調査、技術発表全国大会参加、全国和牛能力共進会見学会
- (7) **埼玉県畜産懇話会**（会員：団体20）
畜産情勢の情報交換、畜産施策の要請
- (8) **畜産女性いきいきネットワーク埼玉**（会員：個人23、団体5）
畜産女性交流会、研修会
- (9) **埼玉県牛群検定組合**（会員：個人13）
ゲノム検査事業
- (10) **その他**
埼玉県粗飼料利用研究会、埼玉県秩父高原牧場利用者互助会、
埼玉県C S F感染拡大防止対策協議会、埼玉県畜産技術協会
埼玉県エサ活事業推進協議会

公益目的支出計画実施報告書

監査日 令和8年4月30日

【令和7年度（令和7年4月1日から令和8年3月31日まで）の概要】

1 公益目的財産額	396,712,229円
2 当該事業年度の公益目的収支差額（(1) + (2) - (3)）	276,585,487円
（1）前事業年度末日の公益目的収支差額	273,438,909円
（2）当該事業年度の公益目的支出の額	624,405,081円
（3）当該事業年度の実施事業収入の額	621,258,503円
3 当該事業年度末日の公益目的財産残額	120,126,742円
4 2の欄に記載した額が計画に記載した見込み額と異なる場合、その概要及び理由 公益目的支出計画とほぼ同額であり、計画通りである。	

【公益目的支出計画の状況】

公益目的支出計画の 完了予定事業年度の末日	（1）計画上の完了見込み	令和65年3月31日
	（2）(1)より早まる見込みの場合	令和26年3月31日

（単位：円）

	前事業年度		当該事業年度		翌事業年度
	計画	実績	計画	実績	計画
公益目的財産額	396,712,229	396,712,229	396,712,229	396,712,229	396,712,229
公益目的収支差額	280,496,759	273,438,909	286,496,759	276,585,487	292,496,759
公益目的支出の額	916,876,500	1,139,044,491	916,876,500	624,405,081	916,876,500
実施事業収入の額	911,327,000	1,135,603,569	911,327,000	621,258,503	911,327,000
公益目的財産残額	116,215,470	123,273,320	110,215,470	120,126,742	104,215,470